

平成27年10月10日

合唱コンクール講評

地域の皆様、保護者の皆様、今日は伊里中学校合唱コンクールにお越しくださり、本当にありがとうございました。

曲決めから3か月、今日のために生徒は頑張ってまいりました。特に、3年生は半年後にそれぞれの夢に向かって歩き始めるわけで、伊里の仲間たちと全員で合唱できる最後の機会でした。また、受け継がれてきた合唱コンクールの素晴らしい伝統を、1・2年生に、引き継いでいく役割も担っていました。その思いを、十分にお届けできていたら幸いです。

また、1，2年生にとっては、初めてのあるいは2回目の合唱コンクールで、仲間と絆を創り、深めていく合唱コンクールでした。しっかりと工夫し頑張れたと思います。来年も、今年以上のコンクールができるよう頑張りますので、ぜひお越しください。

そして、生徒のみなさん、とても素晴らしい合唱コンクールでした。とても楽しい時間を過ごすことができました。私も昔は学級担任として、合唱コンクールに取り組んでいましたが、当時は45人学級で、それでも体育館に歌声を響かせるのは大変なことでした。それを20人少々でこれだけの合唱を見せるのですから、どれだけ素晴らしいかと思います。みんなしっかり口が開いていて、動きも良く揃っていて、ニコニコ歌っている人も沢山いて、各学級それぞれの工夫があり、素晴らしかったです。

指揮も女子の吉本さんは柔らかさのある指揮、他の男子は力強い指揮で、それぞれのよさが出ていました。また、私の娘も合唱コンクールの伴奏を引き受け、毎晩、毎晩、練習するのを見ていたので、伴奏のみなさんがどれだけ頑張ってくれたか分かるつもりです。

みんなで頑張って、みんなで成功させた合唱コンクールでした。体育会でも言いましたが、勝負ですから順位はつきます。しかし、そんなことは置いておいて、本当にどの学級も立派でした。

いよいよ来月の生徒会役員選挙で、3年生から1・2年生にバトンが渡されます。来年も、今年以上に素晴らしい合唱コンクールができるよう、みんなで頑張っていきましょう。